

## 《ロールプレイ「203x年、あなたの町で公害が起きたら？」の進め方》

**ねらい：**社会課題について、多角的な視点で考える  
立場の違う者同士の対話を体験する

### 進め方：

- 0) 事前に、4～6人のグループになっておいてもらう。
  - 1) これからお芝居形式で、合意形成を目的とした話し合いに取り組んでもらうことを伝える。ファシリテーターが状況設定を読み上げる。(2分)
  - 2) 各グループに「役割カード」セットを配付(内容が見えないよう折るか、裏返して)。くじ引きの要領で、一人一枚「役割カード」をひく。(2分)
  - 3) それぞれ役割カードの台詞を黙読して役作りの時間をとる。(2分)
  - 4) ロールプレイ開始。役割番号の順番に「役割カード」に書かれた台詞を読み上げた後、自分の役割になりきって、この状況でどう発言するか自由に考え、意見交換する。「役割カード」に書かれていないことに関しては、想像して自由に発言してよい。目標は、ともにまちに暮らす住民として、対応の仕方について合意形成をすること(話し合いの過程が大事なので、時間内に結論がでなくてもよい)。(10分)  
＜役割設定＞ 5人グループがベストだが、4人 or 6人でも実施可能。
    - 1 市役所の環境担当係長
    - 2 住民A(患者の親。ただちにX工場の操業を止めて原因を調べるよう要求)
    - 3 X工場の経営者(病気の原因だと噂されている)
    - 4 地元診療所の医者
    - 5 住民C(問題の工場で働く。操業を止められては困る)
    - 6 ジャーナリスト(地元紙新聞記者。あとから取材した様子を発表する。)
  - 5) 話し合いが終わった後、どのような話し合いが行われたか、いくつかのグループから発表してもらい、全体で共有する。(5分)
  - 6) 「ふりかえりシート」を配付。役割を降りて本来の自分に戻り、個人作業で、①～③を記入する。(5分)
  - 7) 「ふりかえりシート」をもとにグループで感想を共有(8分)
  - 8) 全体で共有(5分)
  - 9) 西淀川公害裁判の際には、最終的には地域を共によくする「地域再生」という広く共有できるビジョンを患者が示したことで和解に至った。目の前の利害でなく、高次の目標を立てることで対話が進む可能性を説明する。(3分)
  - 10) 「ふりかえりシート」の④に全体を通しての感想を記入(3分)
- \*時間があれば…(8の後のタイミングで)
- A) 大気汚染を放置した場合何が起きるか? 「因果関係図」を描いて分析
  - B) どうすれば合意形成ができるか、役割を降りて話し合う。
  - C) 「公害患者の物語」シートを配布。被害が悪化してしまうと、どれほどのリスクがあるかを学び、公害被害の不可逆性を学ぶ。

---

## ■進め方の留意点

### \* 「合意形成」をめざす話し合いの進め方について

- ・参加者の中には、立場の違う者同士が話し合うというと、ディベートを連想する人もいる。ディベートでは最終的に勝敗をつけるが、この活動のねらいは勝敗をつけることにはない。
- ・同じ町に住む住民同士として、今後も共に暮らしていく関係性であるから、なまじ勝敗をつけようとして関係性が悪化するようなことがないよう、話し合ってほしいという主旨を学習者に十分に伝える必要がある。
- ・また、学習者の中には早く結論を出そうと、多数決をしようとする人もいるかもしれない。
- ・必要に応じて、下記のような「合意形成をするときの注意点」を示すなどして、十分に話し合うように主旨を伝える。

#### <合意形成をするときの注意点>

- ・全員が納得できるまで、充分話し合ってください。
- ・自分の意見を変える場合には、自分にも、他のメンバーにもその理由が明らかであることが必要ですから、自分の考えをしっかりと主張してください。
- ・他のメンバーの考えをしっかりと聴くことも大切です。
- ・結論を急ぐあまり、あるいは葛藤を避けるために、安易な妥協はしないでください。
- ・少数派になると意見が言いにくいものですが、勇気を出して話してください。

### \* 想定される参加者からの反応

- ・ロールプレイの最中は、グループの様子を見て回り、必要に応じて働きかけるとよい。
- ・参加者から「これでは情報が足りない」という反応が返ってくるかもしれない。しかし、実際に公害が起きた場合にも、住民には十分な情報がないことが多い。情報が足りない状態で話し合うことを体験してもらうよう促す。
- ・グループによっては短時間で「住民Aが引っ越せばよい」「市役所が工場を止める間の人件費を払えばいい」といった結論を出して話し合いを止めてしまう場合もある。その際はファシリテーターから「引っ越しの費用は誰が負担するのか?」「病気になった人全員が納得して引っ越すだろうか?」「工場の人件費を税金で負担することに、他の住民は納得するだろうか」といった投げかけをし、さらに話し合いを行うよう促す。

### \* 「ふりかえり」の際に言及したいこと

- ・ロールプレイを進めていると、結果的に住民AよりX工場の経営者や住民Cの発言力が強くなる場合が多い。実際、公害患者は少数派であり、患者の立場に立った公害対策が進められるようになるには、患者たちは市民組織をつくるなどして声をあげることが必要だった。社会課題が起きた際、少数派の意見を聞くことの大切さに言及したい。
-

## 《ロールプレイ「あなたならどうする？」 ふりかえりシート》

### ロールプレイ「あなたならどうする？」 ふりかえりシート

あなたの役割は？

①今の話し合いをふりかえり、あなた自身（役割でなく）なら、どう考えますか？（例えば被害を拡大させないためにまずすること、その他、思いつくことなど）

②ロールプレイでは、互いに率直に言いたいことを言えていましたか？ 言えなかった人がいたとしたら、それはなぜだと思います？

③ロールプレイをふりかえって、将来、あなたの身近で、予想していなかったような問題が起きたとき、どんなことを心がけたらいいと思いますか？

④その他、思ったこと、印象に残ったことなど、全体を通しての感想